



宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 第4号＜概要版＞

12

平成29年9月23日(土)実施

発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

9月23日(土)の午後、宇部市立図書館にて、第12回「宇部市新庁舎建設ワークショップ」を開催しました。27名の市民にご参加いただき、5つのグループに分かれて、これまでの意見を基にまとめたワークショップ変更案に対する期待と検討すべき点を出し合い、全体で議論しました。

ワークショップ案に対する話し合いとしては最終回となりましたが、より具体的な議論を深めることができましたと思います。感想カードの中にも、計画案が次第によくなってくるのがわかるという意見がいくつかありました。

これまで4回のワークショップの意見を反映したワークショップ最終案の報告会を10月28日に開催します。提案のさらなる成長プロセスを確認していただければと思います。これからこの“器”にいかに命を吹き込むかが課題である、ということと、今回のワークショップの最後に参加者みなで共有したことを報告いたします。



ワークショップの流れ



■第9回

日時：平成29年5月20日(土)14:00～

場所：ハミングロード新天町アーケード内

■第10回

日時：平成29年7月15日(土)13:30～

場所：宇部市総合福祉会館

■第11回

日時：平成29年8月5日(土)13:30～

場所：ときわ湖水ホール

■第12回

日時：平成29年9月23日(土)13:30～

場所：宇部市立図書館

■報告会

日時：平成29年10月28日(土)13:30～

場所：宇部市総合福祉会館



第12回プログラム



1. はじめに
2. 第11回ワークショップの振り返り
3. ワークショップ変更案の説明
4. ワークショップ変更案に対する期待と検討すべき点をグループで検討
5. ワークショップ修正案に対する期待と検討すべき点を発表し、全体で話し合い
6. 成果と今後の検討課題を確認
7. まとめ

▼ 1 グループ



▲ 2 グループ



▼ 3 グループ



▲ 4 グループ



▼ 5 グループ

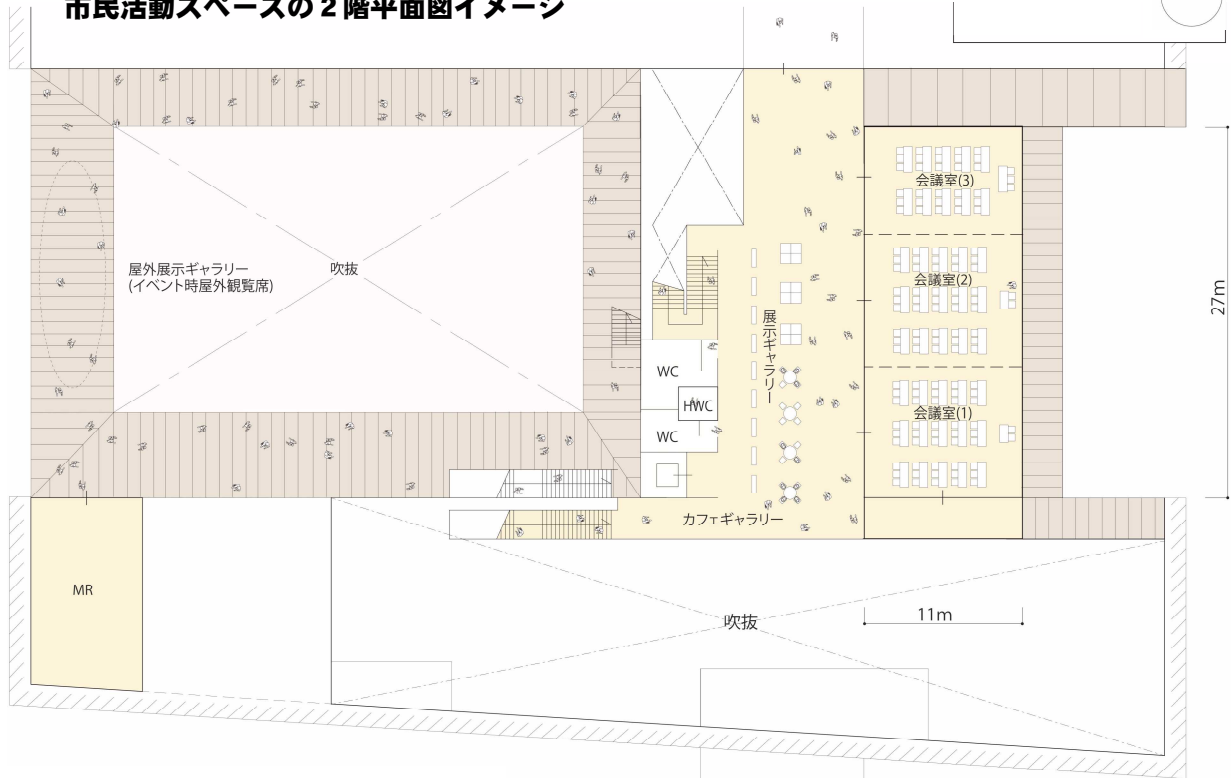


ワークショップ変更案を説明しました

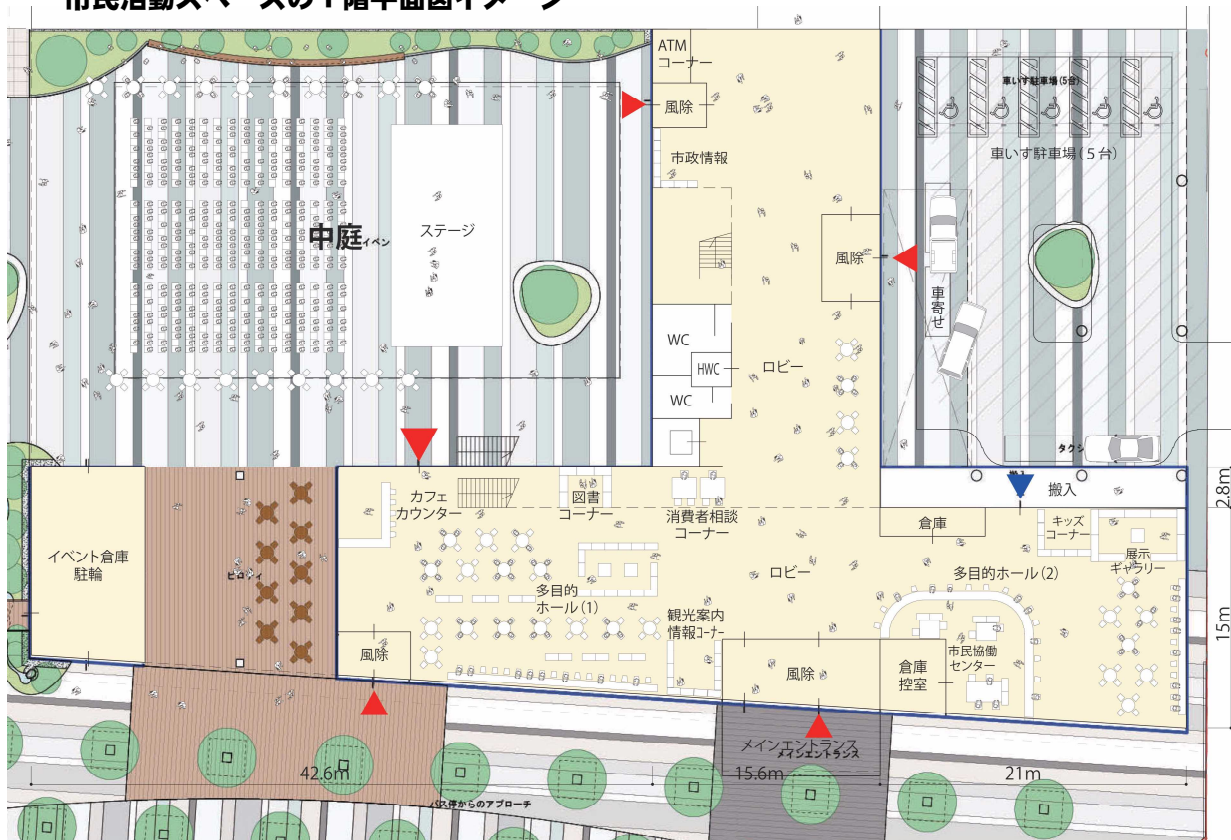
これまで3回行ったワークショップまとめをもとに作成した、宇部らしい市民活動支援機能と、広場などまちづくり拠点機能について、ワークショップ変更案を設計者から説明しました。

ワークショップ変更案

市民活動スペースの2階平面図イメージ



市民活動スペースの1階平面図イメージ



※話し合いのたたき台として設計者から提案されたもので、これが基本設計となるものではありません。

＜これまでのワークショップの大きな傾向＞

市民活動交流コーナー

- ・ある程度の広さが必要
- ・複数の機能を兼ねた場づくりを望む意見が多い（各機能が相互連携しやすい配置として第11回にワンルームラウンジ型配置を提案）

多目的ホール

- ・対極する意見あり
 - (1) きちんとしたホールが欲しい
 - (2) ヒストリア等、他のホールがあるため無駄

＜方向性＞

- 市民活動交流コーナーは、多くの市民が気軽に利用できる場とする。
（予約なしで利用できる打ち合わせスペースや、掲示スペース等を設ける）
- 市民活動交流コーナー全体を多目的ホールとして位置付ける。
（設備を備えた区切られたホールは設けない。より本格的なホールが必要な方には、用途に応じた市内ホールの紹介・予約ができるようにする）

● 多目的ホール：みんなで使うまちなかの大きなロビー

- ・みんなで使うまちなかのロビー空間として、講演会、展示会、発表会など、イベントごとにいろいろ変えられる場所として提案。
- ・最低限の設備を工夫して設えていきたい。
- ・「体育館のようなスペースに」という意見があったが、体育以外の活動が難しいため採用は難しい。
- ・ヒストリア宇部が『市民の部屋』という位置付けに対して、『市民のロビー』として機能的にはっきり分け、相互の共存を図る。

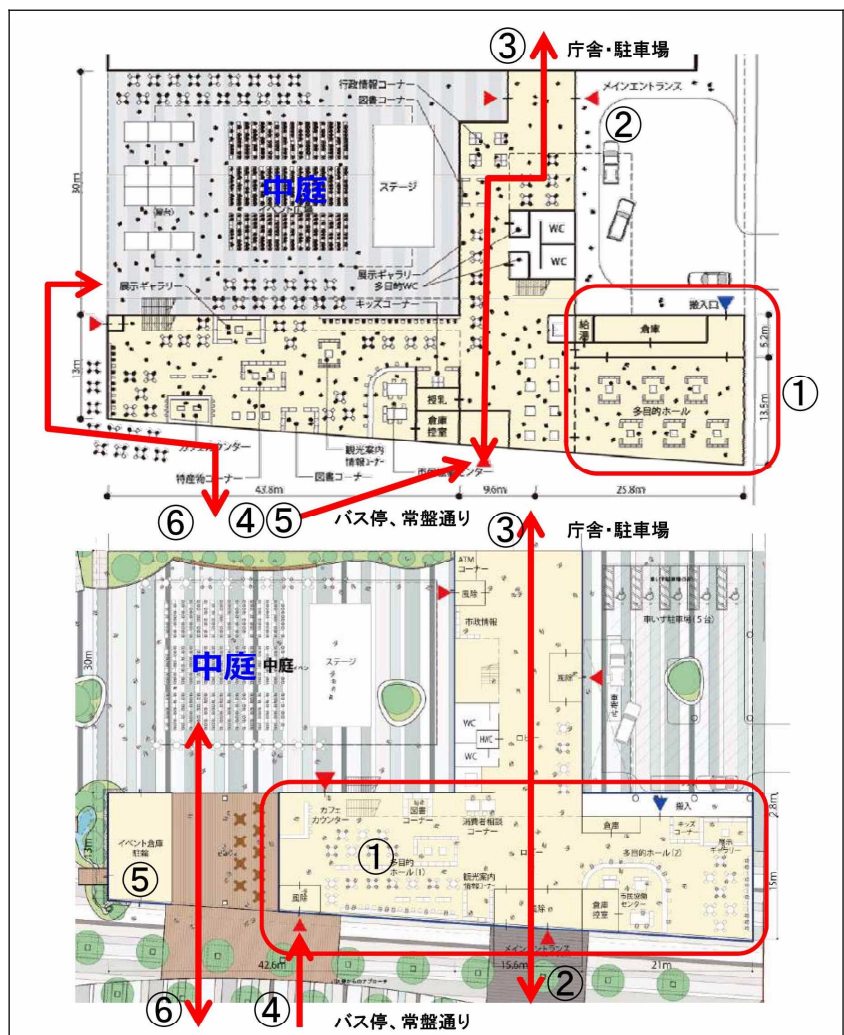
● 市民活動支援機能：整理した6つのポイント

■ 第11回ワークショップの指摘

- ① 多目的ホールのあり方
- ② エントランスが分かりづらい
- ③ 立体駐車場から遠い
- ④ 常盤通り側に駐輪場
- ⑤ バス停からのアプローチに配慮する
- ⑥ 常盤通りからイベントが見えない

■ 変更検討案

- ① ヒストリアと差別化、市民活動支援全体を多目的ホールとする
- ② 常盤通りに面する位置にエントランスを大きく配置
- ③ ロビーを広く見通しを良くし、機能を持たせることで自然に来庁者を誘導する
- ④⑤ バス停正面に出入口、駐輪場
- ⑥ ピロティを介して常盤通りからイベントが見える配置



ワークショップ変更案



※話し合いのたたき台として設計者から提案されたもので、これが基本設計となるものではありません。

● 広場（まちづくり拠点機能）：整理した5つのポイント

- ①立体駐車場不足時の臨時駐車場について
(美観を損ねない)
- ②イベント広場の位置について
(中庭が真綿川沿いか)
- ③親水池とデッキのあり方について
(イベント時に広場が分断されない、
イベントの邪魔にならない)
- ④真綿川沿いの整備について
(桜を活かす、産業祈念像は残したい)
- ⑤中庭や広場に彫刻を置く(まちなか美術館)

- ①広場としての設えを保ちつつ舗装の積載荷重への配慮など、駐車が可能計画とする。
- ②多目的広場や中庭のどちらでもイベントが可能計画とする。またイベント時の搬入車輛動線、耐荷重に配慮した設えとする。
- ③中庭と多目的広場の連携に配慮し、結節点となる憩いの広場の親水空間はイベント利用時に邪魔にならない設えとする。
- ④⑤桜は活用し、彫刻はストーリー性に考慮して配置を検討する。

● 各エリアの設え

【多目的広場】

- ・ワールドキッチンのテントが張れる広さ

【真綿川公園】

- ・中低木が育ち見通しが悪いので整理をして、緑を残しながら安全な公園とする。
- ・市道は廃止し、広場と一体的に整備する。

【広場の舗装】

- ・イベントや災害時に大型車の乗り入れできる仕様。

【憩いの場】

- ・夏場には、噴水装置で噴水やミストを出す。
- ・芝生の小山はイベント時の休憩コーナーや小イベントの開催場所として活用。

【中庭】

- ・イベントがない時には静かな憩いの空間として使える。
- ・500~600人が入れるスペース。ステージやイスを配置してイベントができる。

ワークショップ変更案に対する期待できる点と検討すべき点をグループで検討しました

ワークショップ変更案について、期待できる点と検討すべき点を話し合い、3つにまとめました。結果を発表し、全体の場で意見交換をしました。

1 グループ

<期待する点>

- 例えば週替わりで市の部署の働く場を市民協働スペースに設けてはどうか（お仕事見学、PR）。
- 人（常駐）
- 他市にない市民活動スペースや中庭、広場に期待する。

<検討すべき点>

- 管理する人、出演者などの控え室が必要。
- 若者が集まることができるスペース
- 庁舎に来た人たちが市民活動スペースを使える仕組みづくり（住民票などの待ち番号表示）

2 グループ

<期待する点>

- ピロティがあるのが良い。
- 二階の屋根はデザイン＆管理を西高校にお願いする。
木はアーモンドは如何でしょうか？
- イベント広場の屋根は良い。

<検討すべき点>

- 多目的ホール（2）の2FはLaboスペースを作れるようにしてほしい（現在は吹抜）。
- バス停から入口まで屋根をつけてほしい。
- 多目的ホールは無料で使えるようにしてほしい。

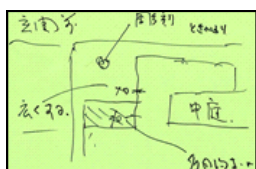
3 グループ

<期待する点>

- 全天候型の広場〔中庭〕。屋上の有効活動。
- 広場の有効的活動。
- 多目的ホールを使用して、医大の先生の講演や活動。

<検討すべき点>

- 中庭は歩いてみたくなる様に、又、建物内からの眺望を考えて、室内に人を留めてお茶でも飲める様にしては如何ですか！
- 吹き抜けは必要か？
- 駐車場が狭すぎる（高低差を利用するべきでは？）
- 車寄せと多目的ホールを入れ替えて、過度をオープンスペースにしてシンボルとなる彫刻を置く。



4 グループ

<期待する点>

- 真締川沿いの樹木の整備とデッキの設置の実現
- 彫刻の置き場所のストーリー性のある再配置には期待する。
- メインエントランスを正面に配置し、庁舎棟への動線が一直線となり、全体的にすっきりして良くなった。

<検討すべき点>

- 消費者相談コーナーはプライバシーの事を考えると、この場所は不向きだと思う。
- 多目的ホールについては検討が必要だと思う。
- 物産コーナーとその運営方法。
- 真締川の公園にトイレ、手洗い場がほしい（特にイベントがある時）。
- 中庭風除室と、車寄せ風除室の位置を合わせたいと思う。なぜなら位置が合う方が動線がわかりやすくなりすっきりとなる。



5 グループ

<期待する点>

- ピロティとカフェをつないでほしい。
カフェは小野茶カフェ。
- カフェでデスクワークが行える。
- 市外、県外、海外の人に宇部を知ってもらう（英語、中国語）。

<検討すべき点>

- 真締川公園と周辺公園をつなぐ散歩コース、ジョギングコース等の出発点に！
- バスが入れるロータリー（コミュニティバス）
- 常時イベントをして人を集める。





発表を聞いた後、全体場で議論しました

参加者1：具体的な使い勝手を考えるところで、ちょっと難しいかもしれないが、みんなでシミュレーションをして「良いよね」と確認できる場があると良い。市民活動の場やカフェなどでも同じ。

参加者2：店や展示に関する細かなネタを持っている方は市内にたくさんいるのに出て来られないのは、ほとんどがボランティアで自腹状態になっているから。補助を厚くすると集まりすぎて先着順になったり、補助がなければせっかく作ったのに人が集まらないということになると思う。最初は光熱費を補助するなど公費で補助を付けて、それから徐々に羽ばたいていただく仕組みにしていきたい。

ワークショップ支援グループ 内田氏：最終的に誰がどう使うのかを決める道筋をどうつけていくのが重要で、それには基本設計、実施設計と並行しながらやっていくやり方がある程度、決めておく必要があるのではないかな。実際に使う団体や使い方をどう決めて行くのかという議論ができると良い。

設計者 飛永氏：駐車場の台数や規模については市の施策の中で最終的には決定する。交通量調査の結果から、利便性に支障が出ない駐車台数を導き出している。それが230台。臨時駐車場や周辺の駐車場の活用を含めれば、ある程度クリアすると思っている。現在、車社会であることは確かだが、将来を見通して考えていかなければいけないと思う。

内田氏：設計と並行して、誰がどう使うのかをどうやって決めるのか。実際の設計、施工の流れに上手く乗るように進めていくことが必要なので、使ってみようという団体に手を挙げていただきたい。

飛永氏：次の段階は「人」。たくさんの、いろんな活動をされている方にヒアリングしながら、実際の運営方法について詰めて行くことだと思う。

参加者3：駐車場が非常に狭いと思う。今の庁舎にはない市民活動スペースが出来れば、そこにたくさんの人を集めないといけない。そうしたら駐車スペースは絶対に足りない。20～30年先には歩けない人が増えるかもしれない、人口が減るかもしれないがそんな先の事を考えても仕方ない。他を削ってでも駐車場を増やすべきである。

飛永氏：駐車場についてはもう一度、市の方に確認し検討する。

参加者4：多目的ホールも1階のスペースも、やはり統一感がないとおかしいし使い方もいろいろあるので、プロデュースする人間が絶対に必要のため、専任で雇っていただかないといけないと思う。

ファシリテーター 伊藤氏：運営するプロデューサー的人材を皆さんで発掘し、市に伝えて行かないと、自然に待っていても出てこない。そういうことを話し合いながら、庁舎が出来るまでの間に、是非頑張っていたいただきたいと思います。

ワークショップの成果と今後の検討課題の確認

設計者、宇部市、ワークショップ支援グループから、これまでのワークショップを振り返り、感想と今後の検討課題をまとめました。



設計者からのコメント

細かい点から総論まで多数のご意見をいただいた。地元の生の声を聞き計画に反映し意見をいただくという繰り返しをさせていただいて、非常にありがたいと思っている。検討課題は多々あるが、この4回でハード面のコンセンサスは見えてきたと感じている。ここを具体的にどう切り盛りしていくかが一番のハードルだと思うので、市内で活躍されている方や内田先生も含めて、皆さんで意見を集めて、宇部独自の空間を作っていきたいと思う。その素地はここにはあると思うので、それを期待しながら良いものをつくっていききたい。



ワークショップ支援グループからのコメント

市民ワークショップの市民案から発展し、やっとここまで来た。市民活動センターのようなものが出来て、いろんな人が出入りしている姿が常盤通りからいつも見えているような庁舎が出来れば、他に誇れる庁舎になると思う。一段、二段、三段と階段を上がってきていると思うので、これからまた皆さん、頑張りましょう。実施設計や現場の段階でも進捗の状況が分かるような形で、場合によっては現場の見学会も取り入れながら、みんなが自分の家を作っているような感覚で市役所が出来ていくように、設計者には努力をしていただきたいと思う。



宇部市からのコメント

目指しているのは防災拠点・執務としての庁舎、そして市民の皆さんに使っていただく庁舎である。他都市にはない市民活動スペースを皆さんと考えていこうとワークショップを開催した。実際に使われないと意味がないので、どのような運営をしていくか、どう使っていくか、どう使えば人が集まるのかということこれから考えていきたい。今後も皆さんの意見を聞く場を作っていこうと思うので、ご協力をよろしくお願いしたい。この市民ワークショップでいただいた案をまとめて11月までに庁舎の素案をつくり、12月には素案に対する意見募集も行っていきたい。今、どこまで進んでいるのかについては、工事期間中も含め、ワークショップニュースに代わるものを定期的に発行して伝えていくことを考えている。